

ハロー！ドクター！

新たに当院に着任した、医師をご紹介します。

はじめまして！
泌尿器科医師の
伊藤 秀明です。



泌尿器科主任医長

伊藤 秀明 (いとう ひであき)

専門分野

泌尿器科腫瘍、腹腔鏡/ロボット支援手術

所属学会等

日本泌尿器科学会指導医・専門医/がん治療認定医/泌尿器腹腔鏡技術認定医/泌尿器ロボット支援手術プロクター認定(膀胱・前立腺、副腎・腎(尿管))

【ひとこと】

私が福井県のロボット支援手術を始めました。

ロボット支援手術で 根治性と機能温存を究める

昨年、当院に導入された内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)を用いた手術を泌尿器科でも開始しました。

日本のロボット手術は2012年に前立腺がん手術が保険適応となつてから急速に広まり、現在では前立腺がん手術はほとんどがロボット手術で行われています。私は福井大学在職中の2013年、前立腺がんロボット手術導入を責任者として携わつてから執刀・指導を行ってきました。その後、適応追加された様々な術式も立ち上げ、これまでに500件超のロボット手術を経験しています。

ロボット支援手術は①3Dモニターによる視認性、②鉗子の多関節化による操作性の向上により、従来の手術より安全かつ精緻な手術が可能です。当科では前立腺がん、腎がん、腎盂尿管移行部狭窄症に対する3術式を開

始しました。がん制御の成績はもちろん、前立腺がん手術における尿禁制の早期回復・勃起機能温存、腎がん手術における腎機能温存など、機能温存に効果を発揮しています。

私は7月から当院勤務となりましたが、若手執刀医に対する指導中心の業務から執刀医としての役割が増えて、若返った気がしています。



ロボット支援手術では、医師はロボットのアームについている鉗子やカメラを遠隔操作して手術を行います